

『トキと人の共生を目指した水辺づくり座談会』



記事

第8回 開催報告

座談会の趣旨
河口部の進捗について
中流部水辺づくり案の話し合い
これまで経緯と計画(案)
放鳥後のトキのようす
みなさんの意見の整理

開催日時：平成22年2月25日(木) 18:30~20:30
場所：トキ交流会館
参加者：総勢46名(住民20名、学識者3名、関係機関12名、事務局等11名)
座談会進行役：桑子敏雄(東京工業大学大学院 教授)
高田知紀(東京工業大学大学院 大学院生)

座談会の趣旨

新潟県は、「トキと人の共生を目指した水辺づくり」を行うため、座談会を開催しています！

新潟県は、トキの野生復帰を川づくりの面から支援するという観点から「佐渡地域河川(国府川水系他)自然再生計画」を作成しました。

この自然再生計画に示された取り組みを具体化するためには、地域の皆様の協力が不可欠と考えています。そこで、地域の皆様から率直なご意見をいただく場として、座談会を開催しています。

皆様のご意見・ご要望を取り入れ、計画に反映したいと考えております。ぜひご参加下さい！

座談会のルール

- ルール1：座談会の議論と合意にもとづいて県は事業を進めます。
- ルール2：座談会は誰もが自由に参加し、発言できる話し合いの場です。
- ルール3：座談会では、地域の将来をみんなで建設的に話し合います。
- ルール4：地域の幅広い意見を聴き、その意見を座談会の議論に反映させます。
- ルール5：専門家からアドバイスを受け、座談会の議論に反映させます。

河口部の進捗について

天王川河口部周辺の検討について、進捗状況を報告しました！

河口部内湖について

第5回の座談会での話し合いに基づき、河口部内湖について、設計を進めることとなりました。現在、概略・詳細設計を担当する業者を決定し、設計作業を開始しました。

ビオトープについて

ビオトープ(裏面「形状案」の水色枠内)については、引き続き皆様と話し合いを行いながら、地域の皆様のご要望に沿ったビオトープ計画案を作成したいと考えております。(計画図次頁参照)

中流部水辺づくり案の話し合い

川幅を広げるとともに、現在のコンクリート護岸から親水性に配慮した、水辺づくり案を提示しました。

これまでの座談会での意見を反映した改修案のイメージ図(右図参照)を紹介しました。

この案は、現在の直線的な川を蛇行させたり、沢水を利用して川沿いに湿地を造ることで、「多様な生き物が生息する環境づくりを目指す」計画案です。

トキが利用していない放棄水田で、整備を進めます。ただし、進めるにあたっては、次の事項に配慮します。

- ・道路、水路、田んぼ、樹木の配置、生物の利用。
- ・改修後の維持管理。
- ・地権者との話し合い。

今後も、トキの状況を見ながら、生息環境に十分注意し、今後の進め方を検討します。

九州大学で佐渡の河川環境を調査した研究者によると、天王川の直線的な河道とコンクリート護岸が、生き物にとって棲みにくい環境・水質を作り出しているとのこと。

ぜひ、今後水辺づくりを進め、生物の棲みよい環境を目指しましょう！



天王川中流部の整備イメージ

これまでの経緯と計画（案）

これまでの天王川河口部の議論と合わせ、 中流部の議論も実施しています！

これまでの座談会での話し合いにより、河口部から取り組みを行うことになりました。

第5回（H21.5.21）では、天王川河口部の堆積土砂を取り除く工事について合意され、第6回（H21.8.10）では土砂取り除き工事完了の報告を行いました。

第7回では、現地見学会の後、河口部・中流部の水辺づくりについて話し合いを行いました。

質問・疑問にお答えします。

質問・疑問等ありましたら、最下段に記載する問い合わせ先にご連絡ください！

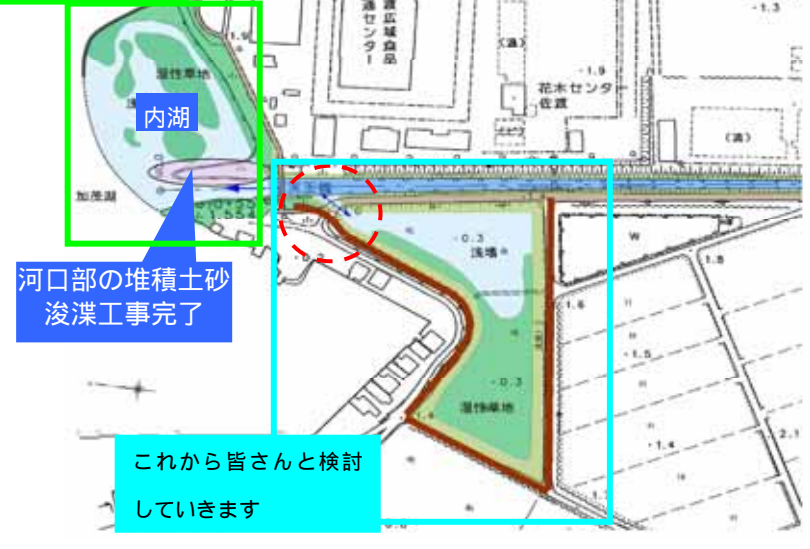
これまでの開催報告について

HPに開催報告を掲載しております。

「http://www.pref.niigata.lg.jp/sado_kikaku/toki.html」

天王川河口部自然再生 形状(案)

設計を進めていきます

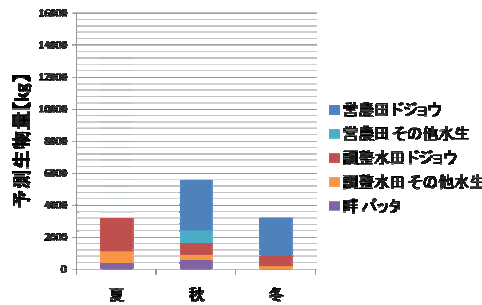


放鳥後のトキのようす

放鳥後のトキのようすを、環境省 笹淵自然保護官に報告いただきました！

環境省 佐渡自然保護官事務所 笹淵紘平自然保護官より、放鳥後のトキの移動・生息範囲や、モニタリングでわかったことについて、報告いただきました。

移動・生息範囲は、かつての野生トキがいたときよりも広がっていること、また、夏場は餌場（右図参照）が少ないことが予想され、中流部の水辺づくりにより、夏場の餌場として利用されることが期待されること、等の報告がありました。



季節毎の予測生物量（環境省提供資料）
ミミズを考慮していないデータである



中流部で飛翔するトキの様子
（環境省提供資料）

みなさんの意見の整理

水辺づくりによる、トキへの影響を懸念するご意見をいただきました。

中流部水辺づくりについて

モニタリングしていると、トキは餌場を選んで、現在の環境を利用している。現在有効な環境を、なぜ改変しようとするのか（モニタリングチーム）

当面は現在トキが来ていない区域の改修を行うことを考えています。このため、現在トキが利用している環境は保全します。（天王川水辺づくり座談会事務局）

これまでトキが採餌できる河川がなかったことから、河川を改修することで、採餌場所を確保することはよいことだと考えるが、再生した河川をどのように維持管理していくの心配である。（モニタリングチーム）

地域住民の方々と一体となった維持管理が必要と考えていますが、その仕組みについては、今後この座談会において話し合っていきたいと考えています。（新潟県 佐渡地域振興局）

現在トキが利用している周辺を整備していくとのことだが、具体的にはどの様に進めていくのか（地域住民）

実際の工事に際しては、モニタリングチームと連携を図りながら工事を行う考えです。（天王川水辺づくり座談会事務局）

工事中は現在利用している箇所にはトキは来ないと思うが、工事が終わって静かになれば戻ってくると考えています。（環境省 笹淵自然保護官）

今後も、皆様の意見を伺いながら、計画案を修正していき、出来るところから川の改修を実現と考えております。また、維持管理の方法についても、皆様の意見を伺いたしたいと思います。

次回も皆様のご参加をお待ちしております。ぜひご参加いただき、計画案への意見を出してください！

問い合わせ先 新潟県佐渡地域振興局地域整備部 担当 佐々木（計画調整課）

TEL：0259-74-4040

FAX：0259-74-2048

Email：sasaki.tadashi2@pref.niigata.lg.jp